

## 8 研究指導プロセス概要

### 経済学専攻【博士前期課程（修士課程）】

| 時期             | 項目           | 内容・目的等   |
|----------------|--------------|--|
| 入学前<br>(入学試験時) | 指導教員決定       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●面接試験（指導希望教員を含む3名の教員により行う）により、大学院における研究計画案を確認</li> <li>●専攻委員会および研究科委員会にて入学試験可否と指導教員決定</li> </ul>  |
| 1<br>年<br>次    | 4月上旬         | 研究科主催ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>●研究科長・専攻長による大学院での学修に関する基本的事項の説明</li> </ul>   |
|                | 4月上旬         | 個別履修指導・相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>●上記ガイダンスの後、指導教員からの個別履修指導（履修相談）<br/>授業履修計画は、修士課程で求められる経済学の基礎知識と、研究計画に必要とされる専門分野の知識の修得という観点より、指導教員の指導のもと作成する</li> <li>●同時に、専門性を考慮し、副指導教員を決定する<br/>※履修登録および変更には、指導教員の承認が必須</li> <li>●研究活動に向けた参考文献・資料等の確認と紹介</li> </ul>   |
|                | 11月～12月      | 指導教員の演習科目を履修 <ul style="list-style-type: none"> <li>●複数の指導教員の演習科目を履修               <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画の作成と提出</li> <li>・教員指導の下で研究活動の進行<br/>参考文献・資料の収集、理解<br/>先行研究の調査、整理<br/>情報収集やプレゼン技法の基礎を修得<br/>修士論文執筆技法の基礎を修得</li> </ul> </li> <li>●なお、指導教員による研究指導は、学生の研究進捗状況により、演習科目以外の時間でも随時行われる<br/>また、学生の資質に合わせて、複数の指導教員が連携・分担して上記の研究活動の進行を指導する</li> </ul>  |
| 2<br>年<br>次    | 4月上旬         | 個別履修指導・相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>●指導教員からの個別履修指導（履修相談）<br/>※履修登録および変更には、指導教員の承認が必須</li> <li>●修士論文テーマの確認</li> <li>●研究の進捗状況確認（課程修了に向けたスケジュールの確認）</li> </ul>   |
|                |              | 指導教員の演習科目を履修 <ul style="list-style-type: none"> <li>●原則的に複数の指導教員の演習科目を履修               <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画の再検討</li> <li>・教員指導の下で研究活動の進行<br/>参考文献・資料の収集、理解<br/>先行研究の調査、整理<br/>調査研究の推進<br/>修士論文の執筆</li> </ul> </li> <li>●なお、指導教員による研究指導は、学生の研究進捗状況により、演習科目以外の時間でも随時行われる<br/>また、学生の資質に合わせて、複数の指導教員が連携・分担して上記の研究活動の進行を指導する</li> <li>●修士論文の執筆指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文の構成の検討<br/>一例としては以下のような構成となる<br/>(1) 研究の背景<br/>(2) 先行研究<br/>(3) 理論的・実証的基礎<br/>(4) 分析と結論</li> <li>・作成の各段階において報告し、指導教員および演習参加院生より質疑応答を受ける</li> <li>・指導教員より論文原稿の改善点などの指導を受ける</li> </ul> </li> </ul> |
|                | 12月～<br>1月上旬 | 修士論文加筆・修正⇒完成へ <ul style="list-style-type: none"> <li>●演習において指摘された要改善点の加筆・修正</li> <li>●論文原稿の完成</li> <li>●指導教員による論文原稿の確認</li> </ul>  |
|                | 1月上旬         | 修士論文提出 <ul style="list-style-type: none"> <li>●定められた期間内に、修士論文および学位申請書類を教務センター（大学院係）に提出</li> </ul>  |
|                | 1月中旬         | 修士論文受理 <ul style="list-style-type: none"> <li>●提出論文の受理（1月経済学専攻委員会にて）</li> <li>●専攻は、研究指導教員を含む3人以上の学位審査委員会を組織（主査は1名とし、他は副査とする）</li> </ul>  |
|                | 2月上旬         | 最終審査 <ul style="list-style-type: none"> <li>●論文審査および最終試験ならびに学力確認の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験官：学位審査委員</li> <li>・最終試験は口頭試問により実施（60分～90分のプレゼンテーションと質疑応答）</li> <li>・学位審査委員会での評価は、審査委員3名の合議により決定</li> </ul> </li> </ul>   |
|                | 2月中旬         | 可否決定 <ul style="list-style-type: none"> <li>●学位審査委員会が審査結果報告書を作成し、経済学専攻委員会の議を経て、経済学研究科委員会に提出</li> <li>●経済学研究科委員会が報告に基づき審議し、可否を決定</li> </ul>   |

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

※学位審査の詳細については「中京大学大学院経済学研究科経済学専攻学位審査に関する内規」に定める。